

鋼

六年 鋼 16
筆順 鋼 鋼
オン コウ
フン はがね

成り立ち

獸をとらえるために山にしかける「網」の形を表した「門」と、「山」とを組み合わせた「岡」に、「金」を加えて作った字です。

「山」にしかける網のように「しなやかで強い」金属を表した字です。「はがね」のように、鉄をよく鍛練して「しなやかで強くした金属」のことです。

鋼

使い方

▽学問でもスポーツでも、本当に良くできる人は、意志が強くて努力家です。その道でも日本一、世界一、と言われるような人は、鋼鉄のような意志を持っているようです。人間はだれでも弱い所、もろい所を持っていると思いますが、自分の弱さにうち勝って、一位の座を占める人というのは、本当に偉いと思います。

熟語例

▽鋼鉄（少量の炭素を含み、かたくて丈夫な鉄。かたくて強い物の代表の一つです。）

▽製鋼（鋼鉄を作ること。「製鋼所」などというふうにつかいます。）

▽鋼玉（ルビーやサファイアなどを言います。ダイヤモンドの次にかたいというので、こう呼ばれます。）

▽軟鋼（炭素が少なく、わりあいやわらかい鋼鉄。炭素の含有量が、○・一パーセント程度のものです。）

▽特殊鋼（ニッケルやクロムなどを加えて、特別にかたくした鋼鉄）

▽鋼材（鋼鉄を加工したもの。板状にしたり棒状にしたりにして、機械や建物などに、つかいます。）

刻

六年 刻 8
筆順 刻 刻
オン コク
クン きざりむ

成り立ち

「い」のし「し」の形を表した「亥」と、刀の形を表した「リ」とを組み合わせて作った字です。

「い」のし「し」を殺して、その肉を「きざむ」ことを表したもので、「きざむ」という意味を表した字です。彫刻、刻版、刻印、刻画。

「時を「きざむ」意味にも使われ、「時刻」の意味に使われます。例刻刻、遅刻、上刻、刻限。

また、「い」のししを殺して肉を刻むのは「むごい」ということで、「むごい」「ひどい」という意味にも使われます。例苛刻（苛酷、過酷）、殘刻（慘酷、殘酷）、刻苦、深刻。

刻

使い方

▽わたしは彫刻や絵画が好きです。彫刻の中では、とくに、ミロのヴィーナスが大好きで、小さな複製を部屋に飾っています。何てきれいなんだろうと思って、始終ながめています。

▽ぼくは一度学校に遅刻したことがあります。何だかとてもはずかしくて、教室に入って行きにくく、ろうかどうろうろしていました。そうしたら、先生がぼくを見つけて、「どうしたの、めずらしく遅刻だね。ねぼうしたのかい」と声をかけてくれました。ぼくは、思い切って、「遅くなって、すみません」と言って、教室に入りました。

熟語例

▽彫刻（木や石や金属などに、人物や物の形などを刻むこと。また、その刻んだもの）

▽刻刻（時間がどんどんたって行くようす。「刻刻と夕闇がせまって来ました」などというふうにつかいます。）

▽苛刻（むごいこと。ひどいこと。「苛刻な運命にたえて生き抜く」などというふうにつかいます。）

▽殘刻（理由もなく他に苦痛を与えて平気であること。）